



報道発表資料の配付日時 1月22日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	十勝総合振興局管内で回収された死亡野鳥(ハヤブサ)におけるA型鳥インフルエンザの遺伝子検査陽性について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 1月18日に、帯広市内で回収された死亡野鳥(ハヤブサ1羽)について、国立環境研究所で鳥インフルエンザ遺伝子検査を実施した結果、本日(22日)、A型鳥インフルエンザウイルス遺伝子の陽性反応が確認されましたので、お知らせします。</p> <p>○ 今後、北海道大学において高病原性鳥インフルエンザウイルスの確定検査を実施予定です。(検査結果判明まで、1週間程度かかる見込み。)</p> <p>○ 環境省では、回収地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化することとしています。</p> <p>○ 現在のところ、回収地点付近で衰弱したり死亡している野鳥は、他に確認されていませんが、道では、今後とも関係機関と協力して、野鳥監視重点区域における野鳥の監視を強化します。</p> <p>○ 確定検査が陽性となった場合、「北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会」を開催して情報の共有を図るほか、「高病原性鳥インフルエンザ特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、半径3kmの区域の家きん飼養農場に対する立入検査、注意喚起及び健康観察の徹底の指導を行う予定です。 なお、現時点で道内の家きん飼養農場において、異常を認める報告はありません。</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 現時点では、遺伝子検査により陽性が確認された段階であるため、病性は未確定であり、高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されたわけではありません。確定検査の結果、陰性となる場合もあります。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。</p> <p>○ 現地での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いいたします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	環境省、十勝総合振興局	

担当 (連絡先)	<p>・環境生活部環境局自然環境課野生鳥獣係(担当者:山中) TEL:011-231-4111(内線24-382)ダイヤルイン:011-204-5205</p> <p>・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係(担当者:松岡) TEL:011-231-4111(内線27-791)ダイヤルイン:011-204-5441</p>		
-------------	---	--	--